第41回全国高等学校選抜フェンシング選手権大会
北海道･東北予選会要項

１　主　催　　東北フェンシング連盟　　北海道フェンシング協会
　　東北高等学校体育連盟　　北海道高等学校体育連盟

２　共　催　　宮城県教育委員会

３　後　援　　（公財）宮城県体育協会　　利府町　　利府町教育委員会

４　主　管　　宮城県フェンシング協会
　　東北高等学校体育連盟フェンシング専門部
　　北海道高等学校体育連盟フェンシング専門部
　　宮城県高等学校体育連盟

５　日　　程　平成２９年１月２０日（金）～２２日（日）
　　（１）開会式　１月２０日（金）１６時００分～
　　（２）競　技　１月２１日（土）９時００分～１７時５０分
　　１月２２日（日）９時００分～１６時２０分
　　（３）閉会式　１月２２日（日）１６時４０分～

６　会　　場　セキスイハイムスーパーアリーナ
　　〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷舘４０－１　℡ 022-356-1122

７　競技種目　学校対抗戦　男子フルーレ・女子フルーレ
　　男子エペ・女子エペ
　　男子サーブル・女子サーブル

８　競技規則　(公社)日本フェンシング協会競技規則を準用する。

９　競技方法
（１）予選プール
ア）　各種目４チームまたは３チームのグループに分け，各グループでプール戦を行う。試合の順番は下記のとおりとする。
１）　４チームの場合　①1-4 ②2-3 ③1-3 ④2-4 ⑤1-2 ⑥3-4
２）　３チームの場合　①1-2 ②1-3 ③2-3
※参加校が各種目５校以下の場合は，参加校によるプール戦とし，（１）－イ）に準じて順位を決定し，決勝トーナメントは行わない。なお，５チームによる試合の順番は下記のとおりとする。
①1-2 ②3-4 ③5-1 ④2-3 ⑤5-4 ⑥1-3 ⑦2-5 ⑧4-1 ⑨3-5 ⑩4-2
イ）順位の決定方法は次のとおりとする。
１）チーム勝数(V･E)÷チーム試合数(M･E)の指数の高いチーム。
２）個人総突数(TD･I)÷個人総被突数(TR･I)の指数の高いチーム。
３）個人総突数(TD･I)÷個人総試合数(M･I)の指数の高いチーム。
４）上記すべてが同じ場合は，代表者１名により５本勝負の決定戦を行う。
（２）決勝トーナメント
ア）（１）－イ）によって各プールの上位2校がトーナメントに進出できる。
イ）トーナメントのシード番号は予選プールの順位による。
（３）試合方式は１チーム５名編成でリレー方式を適用し，１チームの３選手は相手チームの３選手と対戦する。（９リレー試合）。
（４）リレー・マッチの各勝負は，５トウシュで成り立っており(5,10,15,20,等)，各勝負の最大制限時間は２分間(実働)とする。
　最終勝負の規定試合時間終了時に同点の場合は，後１分間(実働)の１本勝負を行う。この１分間の試合開始前に，１分終了後にも同点である場合の勝者を決定するための抽選を行う。この場

合，記録表に記入するスコアは，ポイントで勝者が決定した場合は，勝者に１ポイントを与え，優先権で勝者が決定した場合は，両者にはポイントを与えない。

（５）各マッチは次の順序で実施する。

①3-6 ②1-5 ③2-4 ④1-6 ⑤3-4 ⑥2-5 ⑦1-4 ⑧2-6 ⑨3-5

10　参加資格

（１）選手は学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

（２）都道府県高等学校体育連盟に加盟している１年生及び２年生で大会参加の資格を得たもの。

（３）年齢は、平成 10(1998)年４月２日以降に生まれた者とする。但し，出場は２回までとし，同学年での出場は１回限りとする。

（４）(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング部に平成２８年度加盟の高等学校及び個人。

（５）チーム編成において全日制課程，定時制課程，通信制課程の生徒による混成は認めない。

（６）統廃合の対象となる学校については，当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

（７）転校後６ヶ月未満の者の参加は認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。

ただし，一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

（８）出場する選手は，あらかじめ健康診断を受け，在学する学校の校長の承認を必要とする。

（９）参加資格の特例

①上記（１）（２）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され，在学する学校長が推薦した生徒について，別途に定める規定に従い大会参加を認める。

②上記（３）の但し書きについては，学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は２回限りとする。

(10) 参加資格の別途に定める規程については「第 41 回全国高等学校選抜フェンシング大会の参加資格規程」に準ずる。

11　参加制限

（１）種目ごとに，各道県から選抜された男女各１チームとする。ただし，同一選手がエペとサーブルに重複して参加を申し込むことはできない。

（２）外国人留学生の参加については，学校対抗の規定人員のうち，１名までエントリーを認める。

（３）エリートアカデミー生徒の参加については，学校対抗の規定人員のうち，１名までエントリーを認める。

12　参加申込

（１）所定の参加申込用紙にデータを入力し，下記メールアドレスへ送信すること。

なお，参加申込用紙の押印済み原本は，監督会議終了時までに必ず競技委員長に提出すること。

〒９８３－０８２４　宮城県仙台市宮城野区鶴ケ谷 1-19
宮城県仙台第三高等学校内　渡部　敦　　宛
Mail：ａ－ｗａｔａｎａｂｅ@ｓｅｎｓａｎ．ｍｙｓｗａｎ．ｎｅ．ｊｐ
TEL：０２２－２５１－１２４６　FAX：０２２－２５１－１２４７

（２）申込締切　　平成２９年１月１０日（火）１７：００　必着

（３）参加料　　１チーム２３，０００円

※参加申込用紙と同様，監督会議終了時までに必ず競技委員長に納入すること。

13　宿泊申込

大会事務局は宿泊斡旋を行いません。各参加校の責任において宿泊予約を行ってください。

14　用具検査

（１）検査場所　競技会場内用具検査場

（２）検査時間　20 日（金）14:00～16:00
21 日（土）体育館開館～競技終了まで
22 日（日）同上

（３）検査基準　（公財）全国高等学校体育連盟フェンシング部 規約･規定集に従う。

（４）検査対象　剣，ボディーコード，メタルジャケット，マスク，マスクケーブル，カフ

15　表　　彰　　１位には優勝カップと賞状を、２位・３位には賞状を授与する。

16　全国大会　　男女とも上位４チームは第 41 回全国高等学校選抜フェンシング大会への出場権を得る。

17　会　　議

（１）抽選会　　平成２９年１月４日（水）１３：３０～
情報・産業プラザ６Ｆ　特別会議室
（仙台市青葉区中央１－３－１　TEL ０２２－７２４－１２００）

（２）技術委員会　平成２９年１月２０日（金）１４：００～
セキスイハイムスーパーアリーナ　会議室

（３）監督会議　　平成２９年１月２０日（金）１５：００～
セキスイハイムスーパーアリーナ　会議室

（４）審判会議　　平成２９年１月２０日（金）１５：３０～
セキスイハイムスーパーアリーナ　会議室

18　その他

（１）競技中の疾病，傷害などの応急処置は主催者側で行うが，その後の責任は負わない。
なお，参加者は必ず健康保険証(コピーは不可)を持参すること。

（２）試合中の用具の破損は選手の責任とする。なお，予備の用具は必ず準備すること。

（３）引率責任者は当該校の教員があたり，選手の行動に責任を負う。

（４）同種目の男女のチームが同一校から参加するときは，それぞれの選手を指導する監督を必要とする。ただし他種目の監督を兼ねることができる。また男女で監督を交代することができる。

（５）監督が外部指導者である場合，傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)加入証の写しを提出すること。

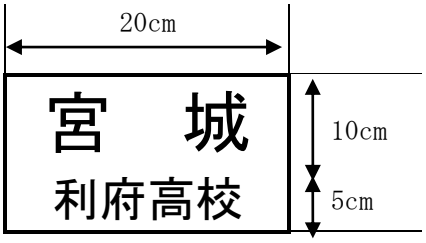
（６）外部指導者の監督については，複数校の監督を兼ねることは出来ない。

（７）選手変更については，エントリーした選手が怪我または病気により大会に出場できなくなった場合は，技術委員会の始まる 48 時間前までに学校長の承認を得て診断書を添え，技術委員会宛（提出先は１２の(1)とする）に書面にて申請し，承認を得ること。
なお，監督の変更についても同様とする。

（８）競技に関する事項

１）本大会要項に記載のない事項に関しては，（公財）全国高等学校体育連盟フェンシング部規約･規定集の「補足６．全国高等学校選抜大会」の規定に従う。

２）ゼッケンを右図のように作成し，各自の後ろ足の膝の外側に必ず付けること。姓と校名については男子は黒字，女子は赤字でピスト係が判読できるよう（太さ１㎝以上）に記入し，同一校に同姓の者がいる場合は識別できるよう名を付ける。



３）ベンチの入場者は監督及び登録選手とする。

４）監督がベンチに入場する際には，長ズボンを着用すること。

５）外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダル等は許可しない。

６）練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。